

# 平成28年度事業計画書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

一般社団法人 日本工作機器工業会



# 平成28年度事業計画

(平成28年4月1日から平成29年3月31日)

## (事業計画の概要)

平成27年(昨年)の工作機器生産は、8月まで24カ月連続した前年同月比増が9月以降では同比減に反転したものの、年間を通じて比較的高い水準で推移したことから、1,784億円(前年比107%)となって2年連続の前年比増となった。

この背景を見ると、海外の景気は、米国の着実な景気回復が続く一方で、ユーロ圏では緩やかな回復、アジアではインドで緩やかな回復が続いたが、中国の景気拡大テンポが一段と緩やかになって景気の停滞感が強まった。国内の景気は、海外景気の下振れ要因やリスクを抱えながらも、原油価格の下落や各種政策の効果もあって緩やかな回復基調が続いた。

景気の先行きに対しては、原油価格の下落による世界的な需要の押し上げによって世界経済の回復が期待されるが、一次産品輸出国における成長見通しの下方修正や財政悪化に伴う国際金融市場の動揺、日米欧主要国の金融政策や財政問題、中国やその他新興国の景気回復に向けた不透明感等を巡る事業環境への影響が懸念されている。このため、工業会としては、内外事業環境の変化に適切な対応が取れるよう態勢を整えていくことが重要である。

平成28年度事業計画は、こうした状況認識の下に、これまで当会で取り組んできた事業の成果と「ものづくり」を巡る新しい潮流に着目した中長期の視点に立ち、政府の施策として推進される金融、財政、税制等に関する政策、中小企業対策、成長戦略、内外事業活動に係わる動向等を踏まえ、本会の目的としている「工作機器に関する生産、流通等の調査、技術及び安全性の研究、標準化の推進等」に係る事業活動に取り組むこととする。

各事業の推進にあたっては、従来どおり委員会・部会活動を基本とし、さらに関連団体を含む相互の連携を一層強化して効率的に実施する。

## (事業計画の内容)

### 1. 工作機器に関する生産、流通等の調査

#### (1) 工作機器の生産、販売、在庫及び輸出入統計の実施

会員から提供される月次データを集計して、引き続き工作機器生産動態統計等の調査を実施する。なお、統計の集計システムは、信頼性、操作性の更なる向上のための作業を継続する。

(需給委員会)

## (2) 工作機器業界の税制、金融の動向等の調査

関係行政機関等の情報収集に努めるほか、日機連等関係団体との情報交換や連携を図りながら引き続き調査を実施し、それらの動向については、適宜、「工作機器ニュース」等で報告する。  
(運営委員会)

## (3) 工作機器の需給構造、需要予測等の調査

工作機器と需要業界の短・中期需要予測を行い、需給関係を解明するために、引き続き専門の委員会を設けるとともに、各部会の協力を得て実施し、調査結果を報告書としてとりまとめる。(需給委員会)

## (4) 知的財産権の保護に関する調査

知的財産権に関する基礎的な調査を実施するとともに、海外での模倣被害実態と権利行使に関する調査・分析等の結果を調査する。(国際委員会)

## 2. 工作機器に関する技術及び安全性の調査

### (1) 共同研究等の実施に関する調査

- ① 経済産業省が「中小企業ものづくり基盤技術の高度化に関する法律」に基づいて推進している戦略的技術支援事業の活用に向けた取組みを引き続き実施する。(技術振興委員会)
- ② 工作機器に関連する研究を実施している大学との産学研究交流会を引き続き実施する。  
(技術振興委員会)
- ③ 日本経済再生本部の策定した「ロボット新戦略」の推進のために(一社)日本機械工業連合会に設置されたロボット革命イニシアティブ協議会に参加するとともに所要の協力を行う。(技術振興委員会)

### (2) 工作機器に関する技術動向等の調査

工作機械及び関連機器に関する世界4大国際展示会への出展頻度の高い出展者や新規出展者に着目し、技術動向等について展示会関連情報を収集・整理するとともに必要に応じて現地調査を実施する。(技術振興委員会)

### (3) 環境保全・安全性確保の調査

気候変動枠組み条約、リサイクル関連、労働安全(機械に関するリスクアセスメント)等の動向について、関係行政機関等の情報収集に努めるほか、日機連等関係団体との情報交換や連携を図りながら引き続き調査を実施し、それらの動向については、適宜、「工作機器ニュ

ース」等で報告する。(各部会)

#### (4) 工作機器の安全対策

工作機器の安全対策については、PL団体保険制度の活用を検討し、当会を保険契約者とし、申し込みのあった会員企業を被保険者とする国内又は海外PL団体保険の適用を継続して実施する。その他、関連制度等の調査を実施する。(需給委員会)

### 3. 工作機器に関する標準化の推進

#### (1) 国内規格 (JIS) に関する審議

##### (1)-1. ISO規格改正等に伴うJIS規格改正原案の作成

ISO規格改正に伴い、当工業会で対応するJIS規格改正原案の作成を行う案件は、次の6件である。

- ① JIS B 1192-1 ボールねじ－用語 (ボールねじ技術委員会)
- ② JIS B 1192-2 ボールねじ－呼び径と呼びリードとの組み合わせ (ボールねじ技術委員会)
- ③ JIS B 1192-3 ボールねじ－測定方法 (ボールねじ技術委員会)
- ④ JIS B 1192-4 ボールねじ－剛性 (ボールねじ技術委員会)
- ⑤ JIS B 1192-5 ボールねじ－定格寿命 (ボールねじ技術委員会)
- ⑥ JIS B 4216 カッターアーバー形状・寸法 (ツーリング技術委員会)

##### (1)-2. 定期見直しに伴うJIS規格原案の作成

JIS規格の定期見直しに伴い、当工業会で対応するJIS規格改正原案の作成を行う案件は、次の2件である。(電磁クラッチ技術委員会)

- ⑦ JIS B 1404-1 電磁クラッチ及び電磁ブレーキー第1部：用語
- ⑧ JIS B 1404-2 電磁クラッチ及び電磁ブレーキー第2部：試験方法

#### (2) 国際規格 (ISO) に関する審議

当工業会は、ISO/TC29/WG33 (工具/ホローツールシャンクインタフェース)、ISO/TC39/WG7 (工作機械/ボールねじ) 及びTC39/SC8 (工作機械/スピンドル及びチャック) に係る国際標準化機構 (ISO) の国内審議団体として登録されており、積極的に国際規格化に向けた提案を行うとともに、次の国際規格案3件に関する国内審議及び国際会議への専門家の派遣等を行う。

(工作物保持具)

- ① ISO 16156 Machine-tools safety – Safety requirements for the design and construction of

work holding chucks (ISO/TC39/SC8チャック委員会) (チャック技術委員会)

(工具保持具)

② ISO/DIS 16084 Balancing of rotating tools and tool systems (ツーリング技術委員会)

③ ISO 13399 Cutting tool data representation and exchange (ツーリング技術委員会)

### (3) 国際標準化活動に関する戦略的な取組等の検討

国際標準化活動の長期にわたる専門家の維持や国際会議への派遣等、人的・資金的な支援態勢を整えた持続可能な態勢づくりと戦略的な取組みの検討を行う。(技術振興委員会)

### (4) 国際標準化を見据えた規格原案 (TES) 等の作成

① 軸継手に関する国際標準化を目的とし、その規格原案とするための工業会規格 (TES) について審議する。

金属ベローズ形軸継手の用語及び試験方法 (軸継手技術委員会)

② ISO規格制定に伴うJIS規格原案の作成を見据えた規格原案 (TES) 等について審議する。

TES 310X 旋盤用チャック-用語 (チャック技術委員会)

## 4. 工作機器に関する普及及び啓発

### (1) CCMT 2016 (第9回中国CNC工作機械展覧会)

CCMT 2016は、2016年4月11日(月)～4月15日(金)までの日程で、中国・上海の上海新国際博覧センターで開催(主催:中国機床工具工業協会)される。当会は、同展覧会の国際インフォメーションブースにおいて、工作機器の普及及び啓発活動を行う。(事務局)

### (2) JIMTOF 2016 (第28回日本国際工作機械見本市)

JIMTOF 2016は、2016年11月17日(木)～22日(火)まで、東京ビッグサイトで開催される。当会は、同見本市の協賛団体として出展するため、開催に向けた準備を推進するとともに、同見本市において普及及び啓発活動を行う。(事務局)

### (3) 出版物等の発行

機関誌、パンフレット等を発行するとともに、ホームページを活用して工作機器の普及及び啓発活動を行う。(広報委員会、国際委員会)

## 5. 工作機器に関する内外関係機関等との交流及び協力

### (1) 工作機械、工具等関連団体との交流

- ① 工作機械関連12団体を始めとし、その他関連団体との交流を引き続き行う。(事務局)
- ② 当会が団体会員となっている(一社)日本機械工業連合会及び(一財)機械振興協会で開催される委員会等へ参加するとともに、関連団体として共同で対応すべき案件等については協力する。(事務局)
- ③ その他、日本規格協会(JSA)、厚生年金基金等の関連団体から委員等の委嘱を受けている委員会等への参加及び協力。(事務局)

### (2) 海外における工作機器の動向等に関する調査

政府機関、JETRO、NEDO、中小企業基盤整備機構、並びに当会が団体会員となっている(一社)日本機械工業連合会及び(一財)機械振興協会等から公表又は提供される各種情報を収集し、関係する委員会業務等で活用するとともに、それら工作機器の動向等については、適宜、「工作機器ニュース」等で報告する。(国際委員会)

### (3) 海外工作機械見本市への参加

平成28年度は、次の海外国際見本市を主な候補として視察団を派遣する。(国際委員会)

MTA VIETNAM

会 期 2016年7月5日(火)～8日(金)

開催地 ベトナム(ホーチミン)

会 場 Saigon Exhibition and Convention Center (SECC)

## 6. その他

### (1) 先端設備に関する「証明書」発行サービス

産業競争力強化法の生産性向上設備等のうち先端設備(A類型)に係る仕様等に関し、希望する機器メーカー等からの申請に基づき、経済産業省関係産業競争力強化法施行規則第5条第1号に規定する先端設備に該当する旨を証する「証明書」発行サービスを行う。

(技術振興委員会、事務局等)

### (2) 講演会、見学会等の開催

講演会、見学会等の開催については、産学研交流会、各部会、分科会等の委員会活動の一環として、開催スケジュールや審議内容等に基づく必要性を勘案した上で、適宜、実施す

る。(部会、委員会等)

### (3) 会員の入会活動

日常業務や会員企業等の紹介を通じて得られた情報に基づき、入会案内の送付や企業訪問を実施するなど、会員の入会活動を通常業務の一環として継続的に実施する。(事務局)